

HAG (ハンドメイド・アニメーション・グランプリ) 「横浜賞」受賞者が決定!

若手アニメーション作家の育成支援を目的としたショートアニメーションのコンテスト、「HAG (ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)」の最終選考プレゼンテーションを、横浜赤レンガ倉庫にて行い、「横浜賞」のほか各賞の受賞者を決定しましたので、お知らせします。

各賞の受賞者には作品の制作費が提供され、(株)ロボット監修のもとに、作品を制作したうえで、完成した作品を各地のイオンシネマで上映します。

横浜市として、この取り組みを通じ、若手のクリエイター育成と、映像を活用した横浜のプロモーション強化を図ります。

※HAG (ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)とは?

ビジネス化の機会に乏しい日本のショートアニメーション界の現状を踏まえ、若手アニメーション作家を育成・支援するためのプロジェクト。オリジナルのショートアニメーション作品を募集してコンテストを行い、受賞者には、最大300万円の制作費を贈呈するとともに、各地のイオンシネマで上映することで、作品の制作・発表とビジネス化の機会を提供します。



1. 横浜賞について

奥田 昌輝 (おくだ まさき)

《略歴》1985年横浜市生まれ。2011年東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修士課程修了。アニメドリード(スペイン)学生部門グランプリ、ファントージュ(スイス)新人賞、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門入選など、国内外の映画祭での上映多数。アニメーション作家・イラストレーター。



作品「招かれざる観客」

《選考理由》絵のうまさと色彩の豊かさ、スピード感あるアニメーションの面白さに加え、横浜らしい明るいイメージが感じられる作品。



【提供制作費】150万円 (横浜市負担)

【制作内容】横浜をプロモーションする内容の30秒作品を新たに制作。

【上映劇場】首都圏26館のイオンシネマ (全作品の本編上映前)

【上映期間】平成27年2月～4月 (12週間)

2. その他の各賞について

(1) イオンエンターテイメント賞 (映画館でのマナーCM部門グランプリ / 提供制作費: 300万円)

なほちか はるこ

《略歴》1986年生まれ。大阪大学外国語学部卒業後イラストレーターに。ハンガリー留学でドローイングアニメーションを学んだ。ブダペストの映画館『コルヴィン・シネマ』で初のCM作品が上映された。



作品「パニックスクリーン」

《選考理由》ペーパーストップモーションのアニメーション作品で、鮮やかなイメージボードも印象的。圧倒的なプレゼン力。



(2) イオングループ賞 (映画館にまつわるショートストーリー部門グランプリ / 提供制作費 300万円)

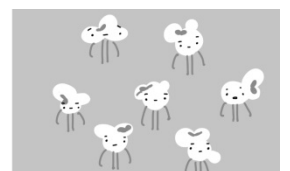
若井 麻奈美 (わかい まなみ)

《略歴》1989年神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。沖縄国際映画祭クリエイターズファクトリー特別賞、韓国漫画アニメーション学会長賞など受賞。



作品「ポップコーンは映画鑑賞がしたかった」

《選考理由》食べられたポップコーンが胃の中で会話をするという斬新な発想と、かわいらしい絵が魅力。



(3) 企業賞

① ジェットスターグループ賞

受賞者：鈴木 剛（すずき つよし） 作品：「GOOD MANNERS！」

② 日本 IBM 賞

受賞者：古山 俊輔（こやま しゅんすけ） 作品：「Lumière（ルミエール）」

3. 最終選考プレゼンテーションの様子

(1) タイトル HAG 2014 最終選考プレゼンテーション

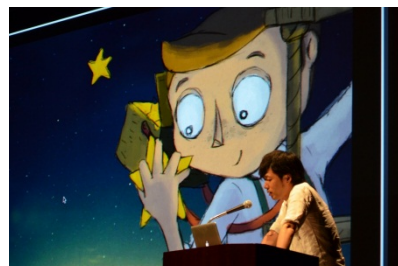
(2) 日時 8月7日（木） 13時～17時

(3) 場所 赤レンガホール（横浜赤レンガ倉庫1号館3階）

(4) 実施形態 主催：イオンエンターテイメント株式会社・株式会社ロボット / 共催：横浜市文化観光局

(5) 内容

① 絵コンテによる公開プレゼンテーションと審査



② 受賞者発表



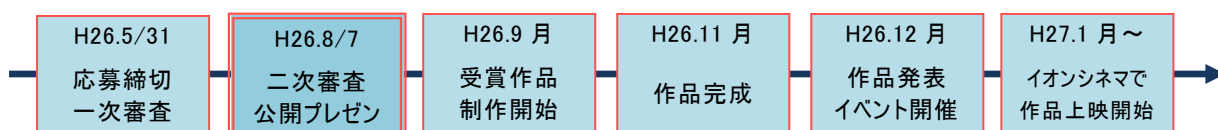
③ ビジネスマッチング（候補者の作品展示を見ながら、映像業界関係者、企業関係者等が交流）



(6) 今後のスケジュール

各賞受賞者は11月に向けて作品制作を進め、12月に実施予定のイベントで完成作品を発表し、平成27年1月以降、順次イオンシネマでの上映を開始します。

完成作品の発表イベントの詳細については、別途お知らせします。



お問合せ先

文化観光局企画課横浜プロモーション担当課長 永井 由香 TEL : 045-671-4065